

情報リテラシー教育をめぐる最近の論点 —国内外の事例から実践のヒントを探る—

*「情報リテラシー教育をめぐる研究・政策・実践の動向—
『指導サービス』レベルアップのための企画・運営を考える—」
野末俊比古（青山学院大学）

*「大学図書館が実施する情報リテラシー教育と図書館員に
求められる専門的能力：米国の事例を中心に」
長澤多代（長崎大学）

日時：平成19年3月10日（土）9:30～12:40

会場：キャンパスプラザ京都（JR京都駅ビル向かい）第3講義室

対象者：図書館職員、教職員、JLA会員、図書館関係団体、他

主催：日本図書館協会

参加費：会員500円／非会員1000円

定員：170名、先着順受付（当日受付もありますが、満席の場合は立ち見またはお断りすることがあります）

締切：3月2日（金）

申込先：電子メールにて、JLA個人会員／施設会員／非会員の別（会員の場合は会員番号）、

氏名、氏名のヨミ、所属、住所、電話番号、電子メールアドレスを明記のうえ、JLA事務局（cue@jla.or.jp）

* 詳細は利用教育委員会ホームページ <http://www.jla.or.jp/cue/>

